

はるかぜ農園、オープン

「小規模はるかぜで夏野菜を育てよう」という提案があり、この度「はるかぜミニ農園」を立ち上げることとなりました。

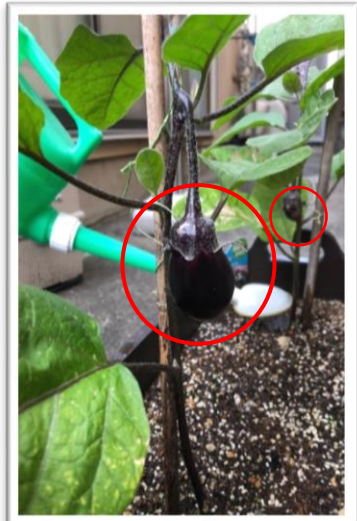
入梅前の5月、オクラ、なす、トマト、ゴーヤの苗を植え、利用者の皆さんと日々成長を見守りながら大事に育てています。小さな農園ではありますが、育てることの意味、やりがいを利用者さんと一緒に感じる事ができればと、今夏の大きな目標として取り組みました。利用者さんにご近所さんのご指導を受けながら、収穫後の試食会を楽しみに頑張っています。その取り組みをご紹介します。



まずは、買出し班。
ホームセンターで苗の購入です♪



いよいよプランターに植えます。



二週間後…



水やりもみんなで協力しています

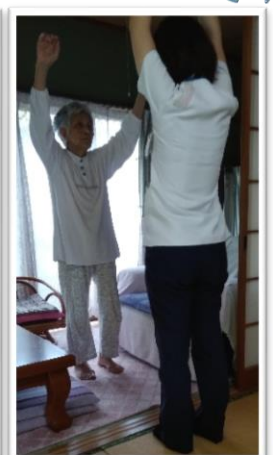
小さなオクラとなすを発見！まだまだサイズは小ぶりですが、これからすくすくと育ってくれるでしょう。成長が楽しみです♪皆さんに良い報告ができるよう、大切に手入れをしたいと思います。

小規模はるかぜ+リハビリ 連携強化中

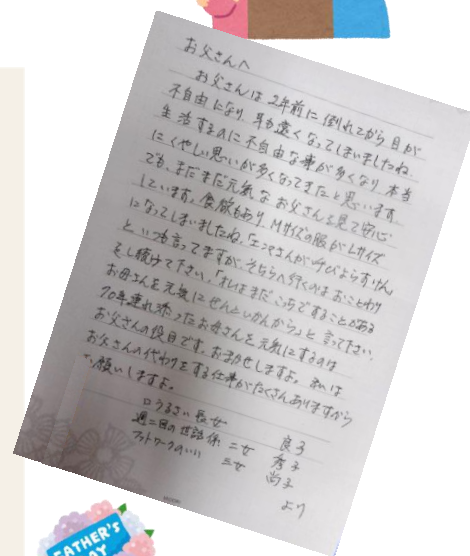
4月に行われた医療介護報酬の同時改定で、「自立支援・重度化防止」の観点から、小規模多機能型事業所とリハビリ専門職の連携がより一層推進されました。

以前からもグループ内でリハビリの協力体制がありましたが、今回の改定を受け更に連携を強化。リハビリスタッフとケアマネジャーが同行して利用者宅を訪問し、専門的な技術を学び、それを小規模の介護スタッフが実践しています。連携をとりながらリハビリを継続して行うことで身体機能を維持します。皆さんが住み慣れた自宅での生活を続けられるよう、いろいろなチャレンジを続けていきたいと思ひます。（所長 澤田誠之介）

理学療法士による個別リハビリプログラム作成の様子



6月17日は父の日。看護小規模はるかぜの利用者さんご家族が、日頃の感謝を伝えようと、お父さんに向けて手紙を書いてくださいました。娘さんからのとてもあたたかいお手紙でしたので、ここで紹介させていただきます。



3人の娘さんからの
直筆のお手紙

お父さんへ

お父さんは二年前に倒れてから目が不自由になり、耳も遠くなってしまいましたね。

生活するのに不自由な事が多くなり、本当にくやしい思いが多くなってきたとおもいます。でも、まだまだ元気なお父さんを見て安心しています。食欲もあり、Mサイズの服がLサイズになってしまいましたね。「エンマさんが呼びよらすけん」といつも言っていますが、そちらへ行くのはおことわりをし続けて下さい。

「オレはまだこっちですることがある。お母さんを元気にせんといかんから」と言って下さい。70年連れ添ったお母さんを元気にするのはお父さんの役目です。おまかせしますよ。私はお父さんの代わりにする仕事がたくさんありますから、お願いしますよ。

くちうるさい長女 良子
週二回の世話係二女 秀子
フットワークのいい三女 尚子

93歳になられる高濱さん。91歳の奥様と看護小規模を利用されています。いつも奥様を気遣っておられ、仲むつまじいお二人です。「私は、若い頃は飛行機乗り(戦闘機)だったとですよ」とスタッフにたくさんお話を聞かせて下さいます。これからもたくさんのお話を聞かせてくださいね。



医事課からのお願い

◎ 保険証切り換えの時期となりました。
～ 窓口へのご提示をお願いします ～

国民保険及び、後期高齢医療にご加入の方は8月1日より保険証が替わります。ほとんどの方に、毎年8月1日を交付日とし、翌年7月31日までを有効とした保険証が発行されます。

7月中に簡易書留で自宅に郵送される予定です。負担割合等の確認が必要となりますので、新しく送付された保険証は速やかに窓口で提示をお願いします。

◎ お忘れ物にご注意ください。
～ 傘の忘れ物にご用心 ～

クリニックでは、届けのあった遺失物を受付でお預かりしています。1週間を過ぎたら破棄しています。

特にこの時期は、傘のお忘れ物が多いので、心当たりがある方は、早めにご連絡ください。



受付